

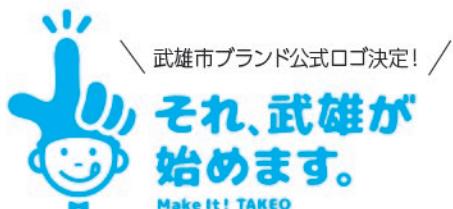


復興に向けて（表紙・上記写真）

県内外から復興支援のため集まつたボランティアの皆さん。残暑厳しい過酷な状況下にもかわらず、家屋の清掃やごみの積み出しなどにご協力いただいています。その活動は被災者の生活再建への一歩に繋がつただけなく、精神的にも支えとなっています。復旧に向けて、市民一丸となって歩んでいきましょう。

TAKEO

広報武雄 No.164 2019年10月号



CONTENTS

| | | |
|--------------|---|-----------|
| ▶特集 | がんばろう、武雄。 | …2 |
| ニュース | たけおのこども会議「魅力ある武雄市にするために」 武雄市民体育大会山内町2連覇総合優勝！ | ほか …9 |
| キッズウィークのお知らせ | | …10 |
| カレンダー | | …11 |
| お知らせ | 10月7日～13日は行政相談週間です 年末調整説明会のお知らせ | …13 ほか |
| 私の趣味自慢 | | …21 |
| おたんじょうおめでとう | | …22 |



市長だより

8月28日に武雄を襲った未曾有の豪雨。被災された全ての皆様にいかうが見舞いを申し上げます。災害発生後、1日も早い復旧に向けて金力を挙げて下さいました。今までの間、被災された方、ご家族、ご親戚、ご近所、関係機関や団体、そしてボランティアなど、多くの皆様の力で、復旧が着実に進んでいます。武雄市には、全国各地からたくさんの災害ボランティアに来ていただきました。その数、1ヶ月で約7千人。本当にありがとうございました。その中には、スーパーボランティアと呼ばれる尾島春夫さんもおられます。

先日、尾島さんが「TVで『武雄の復興は早いね。ボランティアが多いからかな』と言われていました。お会いした際にその件をお尋ねしたところ、「ボランティアが多いよりは、武雄の人たちとにかく温かくて優しい。『ありがとうございます』とお疲れですかとか、『どう言ひ方は簡単だけれど、ハムラ言ってくれる。それは姿勢を見ればわかる。武雄の皆さんり謙虚な気持ち、優しさ。それが大きいくらいかな』」

これを聞いて、復旧や復興を成し遂げるのは、市民の皆さんのがんばりなんだと痛感しました。

「逆境の中にこそ夢がある」という言葉があります。1日も早い復旧、1日も早い生活再建、そして被災前よりよくする。被災された方、高齢者、障がい者、子どもなどすべての人で最後まで金力で支援してまいります。

武雄市長 小松 政